

編集後記

2013年3月に稲村哲也前所長が本学を退職されてから、所長代理として研究所運営の一部を引き継ぎました。本号では、初めて本格的に編集業務を担当することとなりました。これまで稲村前所長が培ってきた研究の蓄積と発信のスタイルを、今後とも維持するのみならず、いっそうの活性化へとつなげていきたいと思えます。

今回は、考古学、宗教学、社会学、異文化コミュニケーション論、文化人類学と、所員ならびに本学構成員の関心と分野の多様性を反映した号となりました。また、インド古典音楽の催しや映像制作ワークショップなど、本学での教育・地域貢献の取り組みに関連する報告も充実させることができました。フランスやシリア、ヨルダンなどからは、新年早々さまざまに緊迫したニュースがまいこんでくる時勢ではありますが、そういう時代であるからこそ、多様性への寛容さを培い続ける社会であり、大学であり、また研究機関でありたいと考えています。

最後になりましたが、今年度は、以下のスタッフのみなさまに支えられて、研究活動および編集作業を円滑に遂行することができました。本学学務課の坂野綾さん、小栗由紀子さん、曾根原誠さん、研究所業務担当の桑原光さん、小笠原由香さん、佐野和貴子さん、学生スタッフの藤澤洋佑さん、小縣愛実さん、中村しほみさん。お名前を記し、所員を代表してお礼申し上げます。

2015年2月

愛知県立大学多文化共生研究所

所長代理 亀井伸孝（外国語学部国際関係学科・准教授）